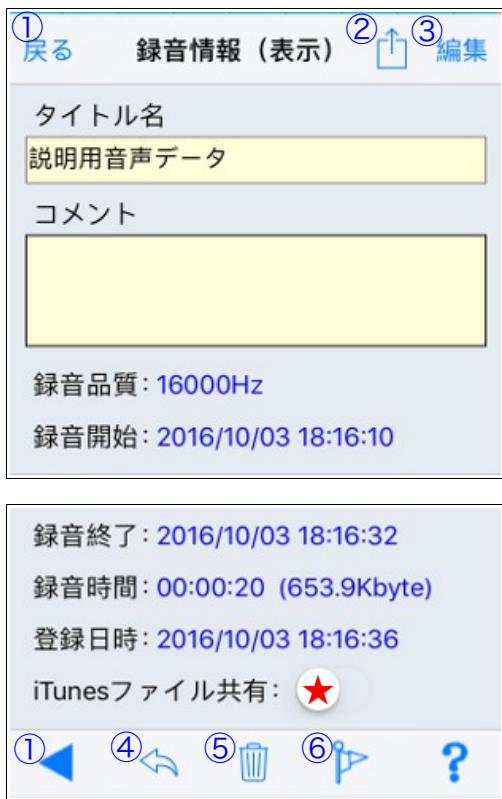


◎録音情報表示画面



○フォルダ表示に戻る

①のボタンをタップして、録音データが格納されているフォルダ表示に戻ります。

○各種データ転送機能の利用

②のボタンをタップして、各種データ転送機能を選択して利用します。



○編集画面に遷移

③のボタンをタップして、録音情報の編集画面に遷移します。

○ルートフォルダ画面に戻る

④のボタンをタップして、ルートフォルダに戻ります。

○録音データの削除

⑤をタップして、録音データをルートフォルダ上にある削除データフォルダに移動します。

○マーカーフラグ画面へ遷移

⑥のツールボタンをタップして、マーカーフラグ画面に遷移します。

※マーカーフラグは、録音／再生の必要時点をマークして、速やかにマーク時点に移動できる様にする機能です。

◎再生制御画面



○録音データの再生

⑦のボタンをタップして、録音データを

再生します。録音データの再生中に⑦のボタンをタップすることで、一時停止および一時停止解除ができます。また、一時停止時に⑦のボタンを長押しタップをすることで再生を終了できます。

○再生制御

⑧の右ボタンをタップする毎に、再生時間が5秒前進します。また、ボタンの長押しで連続前進します。

⑧の左ボタンをタップする毎に、再生時間が5秒後退します。また、ボタンの長押しで連続後退します。

○再生速度

⑨の右ボタンをタップする毎に、再生速度が遅くなります。最低速度は通常の半分になります。

⑨の左ボタンをタップする毎に、再生速度が早くなります。最高速度は通常の2

倍になります。

○大きい録音／再生ボタンの表示

※Aのマークを水平左方向にスワイプすると大きな録音／再生ボタンが表示されます。また、大きな録音／再生ボタンの表示画面で、※Bのマークを水平右方向にスワイプすると元の録音／再生制御画面が表示されます。



○ステップ再生ボタンの表示

大きな録音／再生ボタンの表示画面で、※Cのマークを水平左方向にスワイプするとステップ再生ボタンが表示されます。また、ステップ再生ボタンの表示画面で、

※Dのマークを水平右方向にスワイプすると大きな録音／再生ボタンに表示画面が戻ります。



⑦ボタンのタップで再生し、ステップ再生秒数に設定した秒数経過後に一時停止します。自動リスタートスイッチがオンの場合、自動リスタート秒数に設定した秒数経過後に一時停止を自動解除し再生を再開します。前進および後退ボタンのタップで、再生時間をステップ再生秒数に設定した秒数分だけ前後できます。

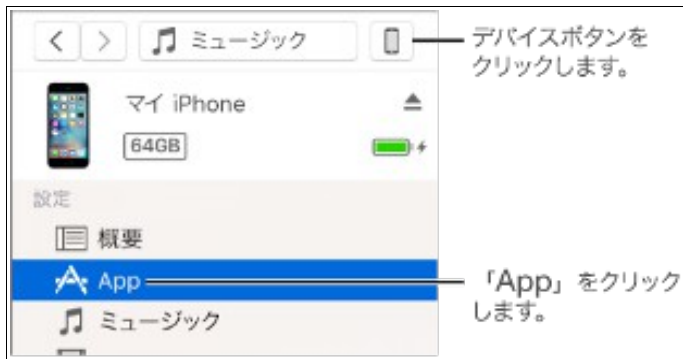
★ iTunes ファイル共有について

iTunes ファイル共有のスライドボタンをオンにすることで、パソコン側の iTunes から録音データにアクセスが可能となります。

可能なアクセスは、録音データの再生とコピーのみです。

※パソコン側 iTunes の操作

1. デバイスをパソコンに接続します。
2. iTunes のデバイスボタンをクリックして、デバイスを選択します。
3. 「App」をクリックします。



4. 「ファイル共有」（下にスクロールしないと見えない場合があります）で、左側のリストから、デバイス上のファイル転送元 App を選択します。
5. **デバイスからコンピュータにファイルを転送する**：右側のリストで転送したいファイルを選択し、「保存先」をクリックし、ファイルの保存先を選択して、「開く」をクリックします。
6. ファイルがデバイスに転送されるか、コンピュータ上の指定した場所に保存されます。